



さくわら

IN・苅田リバーアイカダでGO!! 第2回アイカダ大会開催



7月16日(日)曇り

“小学生チーム4隻、一般のチーム8隻”

合計12隻のアイカダが小波瀬川を彩りました。自然の川の流れに親しむことは、年齢を問わず楽しいものです。各チーム思考を凝らしたアイカダは、約500mの距離を思いのまま…。中には、安定性が得られず水中に投げ出され「河童」のように川に流れてしまう光景も見られ、そのつど沿道から大きな歓声があがりました。

(関連記事P4)

1. 川猿天神かぐら号
片島小学校
2. フレンズキッズ号
苅田町育成連合会
3. 苅ちゃん号
苅田地区子どもたち
4. 松ちゃん号
松原地区子どもたち

一般の部

1. ワンピース
(株) 山崎工業
2. コーキチ丸
苅田商工会議所 青年部
3. 神川くんありがとう号
苅田商工会議所 青年部
4. 苅田山笠青年会
5. 無線部 苅田工業高校
6. うさぎとかめ号
苅田工業高校職員
7. 浮かぶかなあ～号
苅田中学校子どもたち
8. 総合政策課 苅田町役場

苅田町青少年育成町民会議 第18回 総会

とき：平成18年4月27日(木)

ところ：苅田町中央公民館 第5研修室



平成18年4月27日（木）苅田町青少年育成町民会議第18回総会が開かれました。

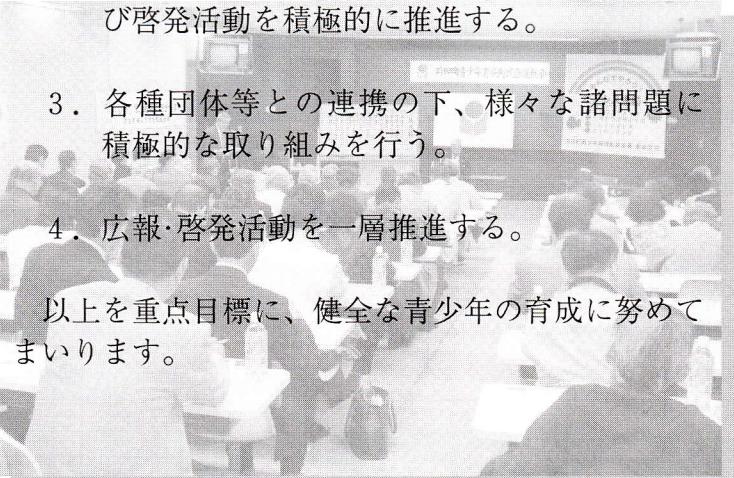
来賓として、行橋警察署生活安全課課長 末松 範之 氏、苅田町議會議長 珠久 六夫 氏がご出席くださいました。

会長の挨拶から始まり、昨年度の主な事業と決算報告があり、今年度の事業計画案などを提案。当町民会議の今後の課題等について活発な意見が出る中で無事、総会を閉会しました。

活動方針

としては、

1. 地域・校区単位で子ども達を中心とした異年齢交流を促進し、各種体験活動や遊びを共にする場を数多く提供していくよう努める。
2. 少年犯罪や「不審者」等による被害から子ども達を守るため、行政・学校・保護者・地域の人と人との連携を深め、非行防止活動及び啓発活動を積極的に推進する。
3. 各種団体等との連携の下、様々な諸問題に積極的な取り組みを行う。
4. 広報・啓発活動を一層推進する。



以上を重点目標に、健全な青少年の育成に努めてまいります。

4月○あいさつ運動(年間)
○少年を守る日補導
(毎月第3水曜日)

5月○港まつり会場警備

6月○オアシス人形劇公演
(対象:幼・保)

7月青少年を非行から守る
全国強調月間
○有害図書要望訪問
○オアシス人形劇公演
(対象:幼・保)
○夏休み特別補導
○すこやか50号発行

8月○夏休み特別補導
○苅田駅前盆踊補導
○苅田町盆踊補導

9月いじめストップ強調月間
○いじめストップ
キャンペーン実施
○健全育成講演会

10月○神幸祭補導
○親子ふれあいウォーク大会
○先進地研修視察
○オアシス等入選者表彰

11月全国青少年健全育成
強化月間
○少年非行・シンナー等
薬物乱用防止研修会
○すこやか51号発行

12月○年末年始特別補導

1月○親子ふれあい講座

2月○どんど焼き補導

3月○委員研修会
○春休み特別補導
○すこやか52号発行

平成十八年度
事業計画

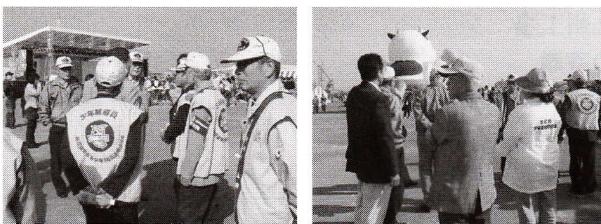
7月は、青少年を非行から守る強調月間です。

この機会に自分・地域の子どもを見直しましょう。

青少年を非行から守る全国強調月間にあたり苅田町青少年育成町民会議では、その取り組みのひとつとして、「有害環境の浄化推進」運動を行っています。

◇その1：役場玄関東側に懸垂幕を掲げ、町民の周知を図る。

◇その2：青少年に有害な図書・図画等の販売について、配慮のための町内書籍・ビデオ店訪問



▲かんだ港まつりにて会場内をパトロール▲

テレビやビデオは使いよう。

テレビやテレビゲーム、ビデオにはばかりのめり込むと、人間関係をつくる力や他人を思いやる心が育たない、仮想と現実の区別がつかなくなるなど、子どもの健全な心の成長に影を落としかねません。

特に、極端に暴力的な場面や露骨な性描写が盛り込まれたものは、親の判断で子どもに見せないようにし、それを家族のルールにしましょう。

その一方で、子どもに良いと思われる番組と一緒に見るなどして、その内容を話題に子どもとのコミュニケーションを深めましょう。

※子どもが見るテレビやビデオを
チェックする

苅田町内での変質者・不審者の出没状況

平成18年4月～5月

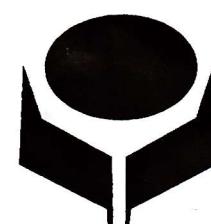
- 1) 4月18日(火) 7:50 与原ぞうさん公園
小女 - 声かけ「どこかに行こう」
- 2) 4月19日(水) 17時 京町
小女 - 声かけ「何年生」「名前は」石投げ
- 3) 4月21日(金) 13:30 白川小学校プール横農道
数人の児童 - 下半身露出
- 4) 4月26日(水) 15時 駅前
小1男 - 1名 肩たたき「チョコレートあげる」「悪い人ではない」
- 5) 5月17日(水) 15:30 富久1丁目上野酒店付近
小1女 - 1名 声かけ「お母さんが病気で大変」
※防犯ベルを鳴らした。
- 6) 5月25日(木) 7:55 日豊線沿いの苅田小近くの踏切
中3女 - 3名 下半身露出
※その中の一名は4月中旬も目撃していた。

苅田町青少年育成町民会議では、町内の住居地域を中心として、不審者・非行防止のため、広報活動を行っております。不審者等に気付いたらすぐ110番または、近くの学校へ連絡下さい。いろいろな情報を待ちしています。

苅田町青少年育成町民会議 事務局

TEL・FAX 093-434-9838

「子どもの安全を守るために緊急アピール」について



今日、全国で子どもたちが、被害者となる痛ましい事件が多発しております。子どもたちが安心して暮らせるように、皆さんで見守っていくため、次のような緊急アピールが青少年育成国民会議総会で決議されました。是非、ご協力下さる様、お願ひいたします。

青少年育成国民運動は、「地域の子どもは、地域で守り育てる運動」として、全国の村・街ぐるみで展開しているが、誠に残念ながら、幼い尊い命が奪われる事件が連続して発生している。今日のわが国の子どもたちが置かれている状況を見ると、子どもたちは、毎年、三十五万件強の刑法犯罪による被害を受け、売春や出会い系サイト等の被害は約九千人、さらに虐待による被害は二万六千件強に及んでいる。今日、わが国の子どもたちは、誠に不幸な状況に置かれていると言える。一方、不審者による声掛け事件が頻発する中、子どもたちを見守らんがためとは言え、子どもへの声掛けや大人や子どもの挨拶すら躊躇しなければならないような状況が一部の地域に拡がりつつあり、地域の教育力を連帯意識はますます低下しているのではないかと危惧される。我々は、こうした事態を重く受け止め、関係機関や団体が強力な対応を進めるよう要請するとともに、国民運動関係者は、以下のような取り組みを寄り一層強力に推進することを決意し、決議する。

一、かねてから地域の子どもを見守り積極的に関わる運動を推進してきたが、子どもたちは安心して登・下校できるとともに、地域で安全な遊びの空間づくりを進めるよう、より一層努める。
一、地域の大人と子どもが信頼関係を再構築し、地域の連帯意識を回復するため、子どもへの声掛けや挨拶運動を積極的に推進する。
一、地域の関係機関・団体とともに「安心・安全な街づくり」活動に積極的に参加し、連帯・協力を推進する。

右決議する。

平成十八年五月三十日

社団法人青少年育成国民会議
第六十五回通常総会

ゴールは目前。
もうひとふんばり。
ファイト・ファイト



準備はいいですか?
よいスタート。

『やつちやれ隊』
たたたたた拍手!
かっこよすぎて



※ご協力をいただいた、各種団体等

苅田町子ども会育成連合会 苅田町青少年育成町民会議

苅田町・苅田町教育委員会 岡崎区・片島区

苅田ロータリークラブ 苅田ライオンズクラブ 苅田山笠青年会
(株)山崎工業 福岡県水難救済会苅田救難所

日産自動車(株)九州工場

こいのぼりの寄贈

林 信行(提) 荒鬼 省三(南原) 笠 村夫(上片島)

(いずれも順不同・敬称略)

誠にありがとうございました。

元気が出る『かんだ太鼓』
心臓に響きます。



今日の主役たち。
全員集合!

バア～バア～の一言

この頃、大勢で群れて遊ぶ子どもたちの姿を見かけなくなりましたね。昔は、子どもの泣き声、笑い声が楽しく聞こえてきました。大体何をして遊んでいるのか予想がつきました。

子どもは、すぐに育つものです。気がつくと、思春期になっていて、親は、ヒヤヒヤものです。今、振り返ると子育ての時期はエネルギーッシュで、子どもから考えさせられることが多かったです。子どもの健康のために料理を工夫し、人より“かわいく”と洋服を工夫したりしていましたね。

子どもは「オギヤー」と生まれ、家族の温もりを感じ、大切にされてる事(信頼感)を知ります。次に這い回り、立ち、歩き、言葉も少し出来、会話が成り立ち、とてもかわいい時期になります。いろいろなものに興味を持ち遊びながら「やりたい事」をドンドンやっています。この時からおかあさんのしつけが始まり、大声が数多く出ていることでしょう。「やって良い事、やってはいけない事」を知っていくでしょう。

「幼児期のあそびについて」横山正幸先生が記載しているらっしゃいましたが、幼児初期に一人でぼんやりしたり、他の子どもとは無関係に一人で遊ぶ「一人あそび」。また他の子が遊ぶのをそばで見たり、声を掛けたりするのは、仲間に近づきたいという状態。相互には交流がない状態なのにお互いに关心を持っている「平行あそび」。3歳以後



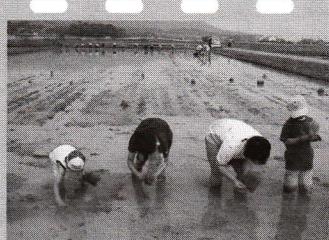
は道具を貸したり借りたり、あるいは、積極的に話し掛け合い、一緒に遊ぶという状態を「連合あそび」。4、5歳頃になると、リーダーが登場し、3、4人の集団が出来、活発に遊ぶ「ごっこあそび」「鬼ごっこあそび」等…。しかし、まだ自己中心的で社会性が育っていないので、よくけんかをします。うまくコミュニケーションがとれずにけんかで生キズが耐えないようですね。この時期に親として人の関り方を遊びや昔話…などで話しかける事が大事かと思います。泣く子を抱っこし、よく話を聞き、教えていく事も大切です。人間は人との間と書きます。人との関わりなしでは生きていけません。関わりがあって成長するものとバアバアは思います。けんかや失敗に恐れずいろんな体験をさせ、失敗と成功のバランスが大切です。

今、残酷な事件が起きていますが、子どもの遊びや体験を奪ってしまう事は人間形成的に良くありません。家族だけでは守れません。最後の最後は子どもの力です。家庭・学校・地域のバランスを取って、子どもの健全育成を望みたいものです。今は特に地域力が衰退化しています。地域の方々の顔を知ることも事件から子どもを守ることにつながると思います。

重荷とばかり考えず、自分に出来ることから地域の中に居場所を発見しましょう。

※皆様の投稿をお待ちしています。

6/3 まるっと農園 一泥んこ祭・田植え フォト日記一



春の体育祭

今年から春に運動会を開催する小学校も増えましたが、今回は中学校の体育祭について取材しました。

5月21日に苅田中、新津中の体育祭が行われました。両校とも今年の体育祭は練習期間中に雨が続き、練習が思うようにできませんでした。

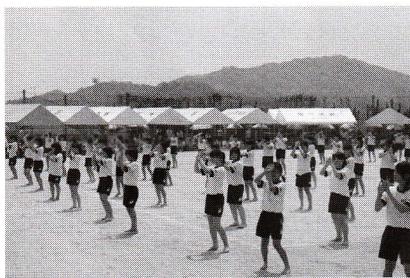
体育祭当日は天候に恵まれましたが、前々日の雨のため準備が遅れ、一部プログラムを変更して体育祭が行われました。しかし両校の生徒達は、3年生を中心とした練習時間の中で本当にすばらしい体育祭に仕上げることができました。



以心伝心 苓田中

苅田中では「以心伝心」を体育祭のスローガンに、すばらしい演技を披露しました。国旗リレー、100m走など競争種目はクラスマッチ形式で行われ、各競技で熱戦を繰り広げました。その中でも男子の組体操・女子のダンスは熱のこもった演技が見られ、組体操では5段のピラミッドを完成させると観客席の保護者からは盛大な拍手が起きました。また女子のダンスでは、3年生のダンスリーダーが女子生徒全員をまとめ、息のあつたソーラン節を披露することができました。

一生懸命 新津中



新津中では一生懸命をスローガンに全ての競技に全力を尽くしました。縦割りのブロック対抗で競技が行われ、学年の壁を取り払って各ブロック団結して体育祭を盛り上げました。その中でも3年生を中心に、各ブロックの生徒全員の息のあつた応援合戦は見応えのあるものでした。また男子の組み体操、女子のダンスも観客席の保護者から大きな拍手を浴びていました。

馬場小学校ではめだかの保護を訴える活動を続けています。



馬場小学校では、環境教育の一環として、7年前から殿川にいるめだかを保護し、増やし、放流する活動に取り組んでいます。かつて、日本全国でみられた野生のめだかは、いま、絶滅の危機をむかえています。馬場小学校では、このめだかを保護し、増やす活動を通じて、わたしたちの住む町の環境に目を向け、めだかをはじめとする動物もわたしたち人間とともに住みやすい町にするにはどうしたらよいかを考え、行動しています。

みなさんも一度殿川をのぞいてみませんか。

少年非行・シンナー等 薬物乱用防止講演会のご案内

かつてシンナーに溺れ、18歳の秋、一夜にして視力を失った牟田征二さん(35歳)の講演会を開催します。ひとりでも多くの若者に薬物の恐さを知ってほしいという願いを込めて講演活動を続けています。

1. 期　　日 平成18年11月18日(土)

2. 場所・時間

①苅田中学校体育館 ②新津中学校体育館
午前10時45分～ 午後1時40分～

3. 講　　師 佐賀県立盲学校教諭
牟田　征二 氏

「2006 福岡県民さわやかマラソン大会」 に参加しませんか。

この大会は、青少年の健全育成や勤労者等一般成人の健康増進を図るとともに家族のふれあいを深め、豊かでゆとりのある県民生活の実現を目的に開催されるものです。

1. 期　　日 平成18年11月19日[日]雨天決行

2. 受　　付 午前9時～10時 (海の中道海浜公園)

3. 開会式 午前10時～10時20分

4. スタート 1kmコース午前10時40分

2kmコース午前10時50分

5kmコース午前11時20分

10kmコース午前11時40分

5. 閉会式 午後1時40分

6. 申し込み先 苅田町青少年育成町民会議事務局

7. 問い合わせ

〒810-0041 福岡市中央区大名2-9-29-1008

☎ 092-739-1447

人形劇でオアシス運動

苅田町青少年育成町民会議では、社会生活の基本であり、潤滑油でもある“あいさつ”を励行する「オアシス運動」に取り組んでいます。このためあいさつは小さい頃からするものが望ましいといふことで、町内の幼稚園や保育園で6月16日から、読み聞かせを広める会「マザーグース」(濱田順子代表)の協力で人形劇によるオアシス運動を推進しています。



▲6月30日青い鳥保育園(集)にて▲

与原保育園	6月16日(金)	苅田みどり幼稚園	7月10日(月)
若久青い鳥保育園	6月23日(金)	苅田第1幼稚園	7月10日(月)
第1ひまわり保育園	6月30日(金)	すみれ幼稚園	7月12日(水)
青い鳥保育園(集)	6月30日(金)	すみれ幼稚園尾倉分園	7月18日(火)
聖母保育園	7月3日(月)	善立寺保育園	7月24日(月)
第2ひまわり保育園	7月4日(火)	わんぱく園	7月25日(火)
苅田幼稚園	7月5日(水)	白川保育園	7月26日(水)

-お詫び-

49号(3月25日)に掲載した与原小学校2年(現3年)の大迫百華さんの学年が間違っていました。ご本人並びに関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを改めて心よりお詫び申し上げます。

0934349838
すこやか編集委員会
編集・発行
苅田町青少年育成町民会議

平成18年度
編集委員会
委員長
委員
三浦 金丸 松枝 荒鬼 庄野 石田
豊 晴樹 玲子 文子 和子 正枝

社会は、目の利益だけに振り回され、この世の中でもっとも大切な宝である子どもの存在を見失おうとしている。私たち大人は子ども達のために何ができるのかを今一度考えなくてはならない。
三浦 豊

最近「格差社会」という言葉をよく聞く。職種による賃金格差や経済的格差はもとより、子ども達の間にも「格差」が侵入している。それは親の経済力が子どもの学力に直結していると言われているからだ。しかし達はそれぞれ隠されたすばらしい才能を持っている。格差のせいでそのまま人生を送ることは、何と不幸なことだろう。また社会にとつても大きな損害である。

編集後記